



(本 社) 甲府市増坪町74	TEL055-241-3151 FAX055-241-8530
(営業所) 上野原市新田661	TEL0554-62-3321 FAX0554-62-3322

2018

# 新年の御挨拶



## 代表取締役 社長 峰岸 一郎

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひ致します。

昨年のは環境での商売ということをお伝え致しましたが振り返ってみて、やはり仕事の内容次第だったと思われませんが、堅調に推移して比較的「良い」(この良いというのはこの数年と比較して)と言われているが、厳しい環境下であったと感じております。製造業が抱えている問題では、1. 後継者不足。2. 設備投資額の低下。3. 人員確保。4. 受注単価の下落。5. 海外からの攻勢等々。抱えている問題は山積みであると感じております。この5項目の中で、やはり「人員確保」ということは業界越えて大問題となっております。製造業は育てて伸ばして、やっと一人前の世界。マシンニングセンターを購入することはお金さえあれば出来ますが、オペレーター確保は簡単ではありません。育成は、やはり10年かかりますね。今年も様々「人の問題」で製造業の立ち位置、特に「継続」できるかどうかまた、サービスの質の低下また、新しい方の仕事への意気込み…。沢山沢山製造業は抱えていかななくてはならない事ばかり、酉年から戌年になり、酉年は商売繁盛・収穫などと言われておりましたが、戌年は守りの年・と言われてはいますが、守ってばかりでは製造業が抱えている問題は変えることが出来ません。様々な視点から既存のお客様を守りながら、新規開拓、新商品開拓、新市場開拓…。開拓精神旺盛で新たな年を迎えていこうと思っております。当社の方向として、やはり県外の市場という部分は切っても切り離せないという重要なファクターとなっております。皆さんもご存じだと思いますが「特殊鋼加工.com」のサイトでは、この2年で県外ですが185社のご登録いただきました。全国では北は北海道旭川市・夕張市から南は鹿児島県霧島市まで多くの登録がされてきた、私共が簡単に営業できるような会社ではない、大手は勿論大学関係・研究機関また業界を飛び越えて衣料業界、舞台装置関係会社、自動車の車体製造の車両関係のメーカーなど私達のサイトから問合せ等々いたしております。枠を越えて長所を見ていただく。今年も様々な開拓精神旺盛で挑戦して参りますので、是非、皆様本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

### 営業部リーダー (国中)



塚原 佳由

新年明けましておめでとうございます。

皆様のおかげで新しい年を迎える事が出来ました。昨年は世界情勢の変革が進む中、景気の落ち込みなどが懸念されていましたが、山梨県内の景気状況は半導体の稼働状況が非常に良くそれに引っ張られるように車、トラック関係の稼働も上がっており、全体的にやや右肩上がりの1年だったと思います。本年もその流れは変わる事無く半導体の内示も10月まで出ているように高稼働は間違いのないですが、ほとんどの下請け企業がオーバーワークになっており製作工程が希望納期に対応出来ない現状が起きている位だと聞いています。車、トラック関係にしても依然として高稼働が続いており、販売されている既存車も好調ですが今年に発表される新型車の製作もあり、まだまだ現状維持が続くと言われてます。2020年に開催される東京オリンピックに向け、日本から海外諸国へと周知活動が盛んに行われ海外からの観光客が多数来日される事を想定し、どのような「おもてなし」を行い世界へと日本の良さを発信して行くのかなどが都議会議を始めて議論が行われています。今までとは違った方向性など限りなく検討し世界水準を超えた日本の「おもてなし」を実践しようとしています。モノづくりにしても今までとは違った考え方や、視点の置き場所を模索しながら新しい時代に取り残されないよう変革を少しづつ行かなくてはなりません。戌年は景気が上がると言われます。現状に満足する事無く時代の流れをしっかり情報として掴み、皆様に貢献できるようにしていきたいと思っております。本年も宜しくお願ひ致します。

### 営業部リーダー (郡内)



望月 博隆

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。皆様におかれましてははつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年同様、皆様からご教授を頂きながらご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。昨年は半導体関係や工作機械関係が好調でありました。大手他社製造業でもかなりの利益が出ており、景気回復の底上げになっています。現実を見ると以前として中小企業は厳しい状況に変わりはありません。郡内でも厳しい声を良く耳にします。昨年の半導体、工作機械以外で良かった所はアルミダイカストの加工や引き抜き材のアルミ加工が良かったです。車や医療、電気系の部品になるそうですが、昨年の後半からそれらの仕事が増え、逆に鉄系の仕事が減少していったように感じました。今年においても半導体は好調のようで1.5倍の仕事量になると言われています。工作機械も中国がものづくり大国(高性能部品製造)をねらっており、他の外国でも工作機械が売れているそうです。それらに関係する弱電部品も動く予想です。車では、何年かのちガソリン車からEV車になると各国で発表があり技術競争の激化になると思います。ものづくりはどう影響するかはこれからです。世界情勢で経済もかなり影響が出てくるのは、国内では拡販できず、輸出に頼り得ざる負えないのが現実です。本年も皆様に状況をお伝えできるよう努めてまいります。

### 営業部(上野原)



山田 幸平

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は私共、峰岸商会をご愛用頂き、またご指導いただき有難うございました。昨年、我社は50周年を迎えました。これも皆様あつての事だと感謝いたします。昨年は半導体関係の仕事が非常に好調でした。機械の導入や、社屋の増設など、投資され稼働率アップをはかっている様子が見られ忙しく稼働されているお客様が目立ちました。今年も半導体関係は好調に流れていく、との情報も出ておりますので、期待していきたいと思います。機械関係の方も第一次下請け様では好調な動きが目立ち、納期割れも有り、高稼働で推移してきております。自動車関係や、トラック関係も長年親しんできたガソリンエンジン、ディーゼルエンジンからEV化への転換期になっており、新たな仕事への期待もあるとお話も出ております。しかしながら、山梨県全体の製造業で見ると中小企業に厳しい状況は依然として続いていると思えます。他方面の分野で試作関係がされているお客様でも新規の試作が出てこないとお話も伺いましたし、全体的に好調とまではまだまだいかないうです。そんな中、特殊な加工技術の構築や、特殊な機械の導入、当社しか出来ない事、オンリーワン商品の確立など、色々な形でアプローチされているお客様も目立った一年だったと思います。今年も、皆様のお役に立てるように営業所一丸となり皆様のお力になれる様に行動してまいりますので、今年もよろしくお願ひいたします。

### 切断倉庫部

#### リーダー 赤木 健三

ポンギ タブオシ 虎渡・嶋田 正二



謹賀新年

昨年は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も社員一同、皆様にご満足いただけるサービスを心掛ける所存でございます。常に前向きに物事を捉え、前進していける一年にし、これからもお客様との距離を縮められる様、そして信頼される現場にしていきたいと思っております。現場の改善、やり方の改善等、少しでもお客様の役に立てる現場を作り今年一年やっていきたいと思っております。何かありましたら、担当の営業または直接現場のほうへ相談して頂けたらと思っております。出来る限り要望に答えたいと思っております。皆様のご厚情と貴社のますますのご発展を心よりお祈り致します。本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。

### 生産加工部

#### 望月 利明・小林 龍也



平素より峰岸商会生産加工部をご愛顧頂き誠に有難うございます。

本年もお客様のご要望にお応え出来ますよう加工技術の更なる向上に努め、この目まぐるしく変化する現代社会にいち早く対応出来るよう短納期、高品質の製品をご提供していく所存です。

当社の主力でありますVS10000(DMG森精機 テーブル面積 1000mmX2000mm 3基)を活用してお客様のご要望に沿った価格および納期面でお応えさせていただきますので、昨年同様変わらぬご愛顧の程よろしくお願ひ致します。

### 業務部

#### リーダー 功刀 功・中川 朋子・福澤 麻美



新年明けましておめでとうございます。旧年中は弊社をご利用頂き有難うございました。

昨年は材料の値上げが何度も有り、お客様にとっても我々販売商社にとっても本当に辛い年でした。また、昨年実施予定だった消費税10%の引き上げが平成31年10月迄延期と決定になった様です。天皇陛下の生前退位があり(2019年4月)平成31年に新年号となる様です。これから1~2年で色んな事があり、我々の製造・ものづくり関連においても激動の年になって行くかもしません。しかし我々社員一同常にお客様により早く良い製品をお届け出来る様考え行動して行きます。また何かおこまり事がありましたら是非ご用命下さい。最大限ご要望に答えられる様努力してまいります。業務部一同お待ちしております。本年もよろしくお願ひ致します。

### 上野原営業所

#### リーダー 村松 貴・大浜 久美子・金井 明子



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

皆様お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、我社は創業50周年を迎えることが出来ました。これもひとえにお取り引き先をはじめ支えてくださった皆様のご支援のおかげであり、感謝に堪えません。これからも地域の皆様と歩み発展し続けるため、物作りを通じて社会に貢献する企業として、皆様にご協力出来るように上野原営業所一同日々精進してまいりますので今後とも変わらぬご支援、ご愛顧をよろしくお願ひいたします。本年が皆様にとりまして輝かしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



～ 吹子 (鞆) ～

たたら歴史は吹子の発達と深く結びついている。我が国で、記録に初めて現れる吹子は天羽鞆<sup>あまはねのたばこ</sup>という皮吹子で、真名鹿<sup>まなしか</sup>の皮を全剥ぎにして作ったとされる(日本書紀)。具体的な構造は、間宮林蔵の「北蝦夷図説」と岩手県大槌町 小林家「製鉄絵図」(図1)にみるくらいしかないが、いわば皮製の袋に竹あるいは木製の管をつけた程度のもので、その操作は「北蝦夷図説」の場合は、皮袋の管と反対側は口が空いており、その部分を手でつかみ、閉じて押ししたり、開いたりしながら弁の働きをさせて風を送ったものと想像される。その後、踏吹子が登場するが、「倭名類聚抄」(934年)では皮袋を鞆<sup>たばこ</sup>とし、これと区別するため踏鞆を「たたら」のこととしている。踏吹子が最初に記録に現れるのは「東大寺再興絵巻」で、12世紀の大仏鑄造の際、銅の溶解に使用されたと紹介されている。18世紀中頃(1754年)に書かれた「日本山海名物図絵」の鉄たたら図では、構造は側面と底を粘土で固めた函本体を中央で二つに仕切り、各室に吸・排気用の弁をつけ、これに合致するしま板をのせて、しま板を6人の労働者が踏んで上下運動させて風を送っている。図の説明として鉄を溶かすのに十分な火力は踏吹子によってこそ得られたと記されている。そして、まっすぐで滑らかな板を加工できる縦引きの大鋸、鉋などの大工道具が普及してくると吹差吹子(差吹子あるいは箱差吹子ともいう)が登場する。吹差吹子は鍛冶道具として知られる代表的な構造をもつ吹子で、箱底部に特殊な工夫が加えられ、風の分配を均等にするほか、柄を押しても引いても常に風が送り続けられるようになっている。その始まりは明確ではないが鎌倉初～中期頃で、普及するのは板材が安価に作られるようになる15世紀以降と言われる。しかし、吹子自体の大きさには限界があり、たたら炉を大きくするには、炉の左右に何挺も並べて風を送るという問題があり、中国山地では、製鉄用はやがて天秤吹子に置き換わる。

天秤吹子の発明は定かではないが、出雲・杠家の文書には元禄4年に使用されたとの記録がある。効果的な送風が可能な天秤吹子は中国山地で特徴的な発達、普及をし、大幅な省力と生産力を飛躍的に高めた。図3に示すように、左右2枚のしま板の運動を司るため天秤構造としたもので、一人踏と二人踏があり、1時間踏み続け2時間休むという交代作業で重労働であったといわれる。(吹子を踏む作業者を「番子」と呼び、ここから「替わりばんこ」の言葉が出来たとも言われている。)

たたら製鉄における吹子の変遷は画一でなく、中国山地でも石見、出雲では踏吹子→吹差吹子→天秤吹子となっているが、伯耆、美作地域では、踏吹子→天秤吹子となっている。一方、奥羽地方では踏吹子、天秤吹子はあまり使われず、大型の吹差吹子(大伝馬と呼ばれた)が主として使われ、幕末期に水車吹子に移行する。ちなみに、天秤吹子への移行が進んだ中国山地で水車吹子が使われるようになるのは明治になってからである。

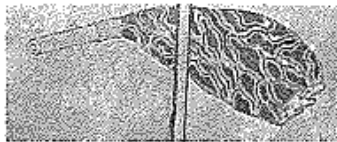


図1 皮吹子「北蝦夷図説」より

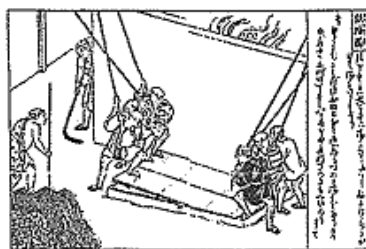


図2 踏吹子「日本山海名物図絵」鉄踏鞆の図

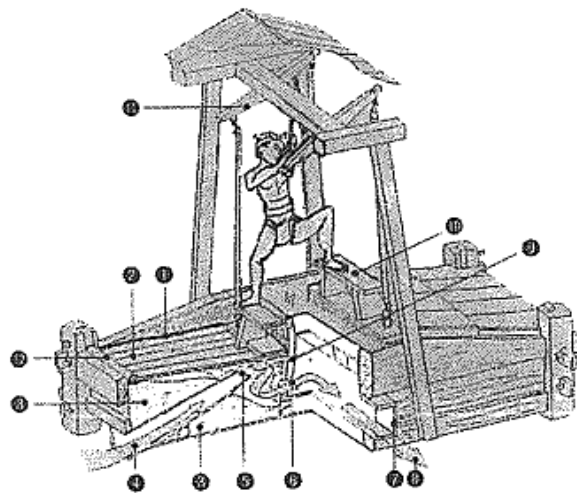


図3 天秤吹子の構造図

- ① たぬきの皮、パッキングの役目
- ② 鳩板、⑩を支点として上下
- ③ 土、空気のものを防ぐ
- ④ 空気の取り入れ口
- ⑤ 弁
- ⑥ 弁
- ⑦ 送風口
- ⑧ この風は木呂管を通して炉へ
- ⑨ 隔板
- ⑩ 踏み台
- ⑪ 天秤棒
- ⑫ 軸、鳩板の支点